

楽しいリズム、28曲訳し出版へ

わらべうたで 韓国の心紹介

■ 尼崎市職員・山根俊郎さん ■



「朝鮮のわらべうた」出版に向け、
韓国のわらべうた28曲を日本語に
訳した山根俊郎さん＝尼崎市東七
松町1

韓国各地のわらべうたを紹介しようと、朝鮮の言葉や歴史、文化を学ぶサークル「むくげの会」会員で、尼崎市職員の山根俊郎さん(五〇)神戸市灘区楠丘町四が、二十八曲の歌詞を日本語に訳した。絵本「朝鮮のわらべうた」(仮題)として本年度中にも出版される予定。(坂本 勝)

山根さんは神戸学生青年センター(灘区山田町三)で朝び「かめよあそぼつ」など鮮語を学び、朝鮮の歌謡曲史を選び、詩を訳した。などを主に研究してきた。例えば、「だいもんあそび」

出版を計画したのは、東京は「もんはんもんはん」ものの出版社「架空社」。「原爆んをひらけ かきがないのでの図」で知られる洋画家丸木 ひらけ どのもんから入俊さん(故人)が絵を担当しうるか トンデムンから入るた「ロシアのわらべうた」をうか。どの曲もリズムがよ二〇〇六年に出版、第二弾とく、子どもたちが楽しく遊ぶして「朝鮮のわらべうた」を様子が伝わるように翻訳。韻を踏んで、面白おかしく表現企画した。

朝鮮歌謡に関する山根さんの研究を知った関係者が昨年十一月、協力を依頼。山根さんは韓国の初等学校(小学校)で現在使われている音楽教科と出版を心待ちにしている。